

「ダイバーシティ特別講演会」を開催しました。2019.2.18 (月)

2019年2月18日(月)13時から、本学挾間キャンパスにて、本学役職員等を対象とした「ダイバーシティ特別講演会」を実施しました。講師として、大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構長の藤井良一先生をお招きし、「ダイバーシティ推進に向けた評価の重要性とそのあり方」との演題で質疑応答も含めて約1時間ご講演いただきました。本講演は、本学役職員が更に高い意識を持ち先頭にたつて、本学のダイバーシティ推進を更に推し進めていくために開催したものです。

講演では、欧米諸国に比べて依然低い女性研究者比率の問題点と、女性活躍の推進がいかに教育・研究の水準の向上に資するかを具体的数値を示して説明していただきました。

また、男女共同参画社会の推進や無意識のバイアスの自覚と排除のためには、学長のリーダーシップと執行部のコミットメント、構成員への啓発活動や継続的に指導的地位を占める女性役員・女性研究者の育成が重要であることを指摘されました。そのドライビングフォースのひとつとして、男女共同参画の取組を組織に対する評価指標として導入し、機関への研究資金の配分を行っている諸外国の状況について説明があり、日本における導入の有効性と期待される効果が示唆されました。

今回の講演会を機に、本学では女性研究者比率および指導的地位を占める女性教職員の更なる増加を目指していきたいと考えています。



講演する藤井良一先生



講演会の様子

「Q-wea 学習会」を開催しました。2019.2.21 (木)

2019年2月21日(木)12時から、Q-wea(九州・沖縄アイランド女性研究者支援ネットワーク)の第11回学習会を本学旦野原キャンパス学生交流会館にて開催しました。この学習会は、Q-wea参加機関関係者が年に1回集まり、グループワークなどを取り入れて各機関の諸課題やグッドプラクティスを情報共有し、語り合い学習をする貴重な学び・気付きの場となっているものです。今回は、本学が2018年10月からの2年間Q-weaの事務局を引き受けたことから本学主催で開催し、九州管内の各大学から15名の参加者がありました。

今回のテーマはQ-wea参加機関からご提案いただいた、①学習会等について、②女性教員採用比率と在籍者比率を高める取組としました。2時間では足りない程多くの貴重な意見があり、Q-weaの人的ネットワークと学習会の重要性を改めて認識できました。



出前型の男女共同参画入門講義つき理系女性研究者との座談会

本学男女共同参画推進室では、女子中高生およびその保護者へ、①女性教員による男女共同参画入門の講義、②女性研究者による理系研究の魅力発信、③就職担当の理工学部男性教員による女子就職の変遷についての出前講義型講演会と座談会を、平成 26 年度から実施しています。今年度は、6 校で開催し、合計 419 名の参加がありました。

開催校及び参加者数

実施日	実施場所	対象者	当日参加者	
			学生	保護者・教員
7月17日(火)	大分県立佐伯鶴城高等学校	女子高校生 保護者・教員	197	98
7月18日(水)	大分県立別府鶴見丘高等学校	女子高校生 保護者・教員	31	3
8月1日(水)	九州産業大学付属九州高等学校(福岡県)	女子高校生 保護者・教員	31	11
11月17日(土)	大分市立賀来小中学校	女子小中学生 保護者・教員	8	3
12月15日(土)	大分市立城南中学校	女子中学生 保護者・教員	7	0
3月15日(金)	福岡工業大学附属城東高等学校(福岡県)	女子高校生 保護者・教員	30	0



女子高校生の質問に答える本学の大学院生



能動的に学ぶことの大切さについて講演している様子



女子高校生と保護者の方々に女子大学生の就職状況などを説明する様子

機械・電気電子・化学の実験体験会 2018.12.22(土)

2018年12月22日(土)13時から、大分県内の女子中高生と保護者を対象に、理工学部の機械、電気電子、化学の「ものづくり実験」を体験してもらう実験体験会を開催しました。

今年度は、3D プリンタ、VR(バーチャルリアリティ)システム、ドローン実演を体験する「ロボット制御コース」、電子ピアノ試作と楽譜のプログラミングに挑戦する「電子ピアノ試作コース」、インジゴの合成と巾着袋の建染めに挑戦する「化学反応コース」を準備し、女子中高生 16 名、保護者 5 名が理系分野の魅力に触れました。



VR(バーチャルリアリティ)体験



電子ピアノ作り



巾着袋のインジゴ染め

オープンキャンパス同時開催 「女性研究者と語ろう」 2018.8.10(金)

2018年8月10日(金)、「女性研究者と語ろう」をオープンキャンパスに併せ、旦野原および挾間の両キャンパスで開催しました。旦野原キャンパスでは大学院生が、挾間キャンパスでは室員の先生や附属病院で勤務する現役の女性医師たちが、立ち寄られた高校生や保護者の方々と歓談しました。



勉強の仕方や入学後の進路について
医師たちにアドバイスをもらう母娘

タイの理系女子(リケジョ)8名を含む 13名の高校生との交流会 2018.10.4(木)

「日本・アジア青少年サイエンス交流事業」(「さくらサイエンスプラン」)に大分大学医学部とタイのSSH(スーパー・サイエンス・ハイスクール)の高校生との交流事業が採択され、2018年10月1日から8日にタイのリケジョを含む高校生13名と引率教員1名が大分大学を訪れ、10月4日には大分大学の研究者との交流会を行いました。

大分大学さくらサイエンスプラン担当の内田智久先生の司会で、タイの女子高校生1名と男子高校生1名、タイから本学に留学している大学院生のラサダさんとベンジャワンさんによる研究発表と質疑応答が行われました。その後はグループに分かれ、タイと日本の教育システムの違いについてや、どんな学生生活を送っているのかについて英語でのフリートークを楽しみました。

タイの高校生たちの積極的な姿勢と明るい人柄のおかげで、終始和やかな雰囲気の中、楽しい交流会となりました。



留学生や本学教員との交流を楽しむタイの女子高校生

大分大学開放イベント2018 「女性研究者の学会派遣報告展示」 2018.11.4(日)

2018年11月4日(日)の大分大学開放イベント2018の企画として、「女性研究者の学会派遣報告展示」を開催しました。当室が行っている学会派遣支援を受けた女性研究者が学会で発表した研究内容や、学生生活について作成したポスターを展示し、来場された地域の方や中高生などからの疑問や質問に答えました。



来場された地域の方々と説明する女性研究者



以下のサイトでは、より詳細な
イベント報告記事を掲載しています。
ぜひご覧ください☆

イキイキ!理系女子♡(大分大学リケジョ応援サイト)
http://www.rikejo.oita-u.ac.jp/rikejo_wpv1/



全学共通科目授業「男女共同参画入門」

2018年度後学期の全学共通科目授業として「男女共同参画入門」を開講しました。今年度の授業内容は一覧のとおりです。学内教員のみでなく、アイネスや労働局、あまべ文化研究所からも講師を招きバラエティーに富む講義を行いました。また、授業の締めくくりとして、グループワークを実施し、各グループごとにポスター掲示と口頭発表を行い、教職員や企業の方による審査があり、最優秀賞、審査員特別賞、ポスターデザイン賞の授与がありました。この発表会を通して、半年という短期間の講義でしたが、若い学生達が男女共同参画に対する意識や知識を大きく進化させたことがわかりました。

	日付	授業名	授業講師
1	10月3日	オリエンテーション 私のライフプラン(1)	大下 晴美(医)
2	10月10日	私のライフプラン(2)	大下 晴美(医)
3	10月17日	ワーク・ライフ・バランスと男女共同参画	大分労働局雇用環境・均等室長 桑原 光照
4	10月24日	医学から見た男女共同参画	中川 幹子(医)
5	10月31日	行政から見た男女共同参画	大分県消費生活・男女共同参画プラザ (アイネス)所長 森崎 純次
6	11月7日	男女共同参画の基礎知識	城戸 照子(経済)
7	11月14日	世界の多様性から見つめ直す日本と自分	あまべ文化研究所 代表 岩佐 礼子
8	11月28日	経済・経営学的視点からの男女共同参画	渡邊 博子(経済)
9	12月5日	女性の子育てと仕事の両立や男性の子育てについての体験談を聞こう	河野 伸子(福)、青野 篤(経済)
10	12月12日	キャリアを考える	堤 紀子(理工)
11	12月19日	グループワーク:(1)オリエンテーション	大下 晴美(医)
12	1月9日	グループワーク:(2)	城戸 照子(経済)
13	1月16日	グループワーク:(3)	城戸 照子(経済)
14	1月23日	グループワーク:(4)	大下 晴美(医)
15	1月30日	グループ発表・最終審査	大下 晴美(医)



グループ発表を行う学生達



最優秀賞の授与の様子

お知らせ 学生証の旧姓との併記ができるようになりました!

2018年6月25日より、学生証への表記が戸籍上の姓(新姓)のみではなく、旧姓との併記ができるようになりました。新姓と旧姓の併記を使用するためには、「戸籍上の姓及び旧姓併記使用申出書」の提出が必要になります。

(例)旧姓…由布花子<新姓…大分花子の場合

以 前(平成30年6月24日まで)



現 在

